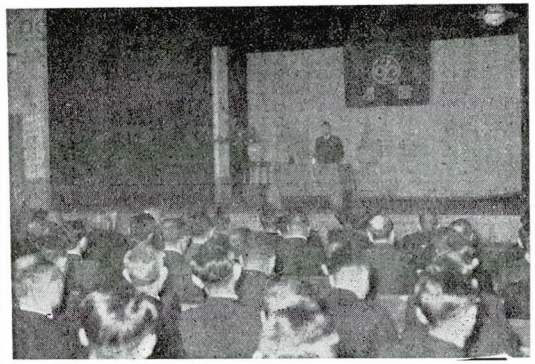
港区政ニュース

発行所　区地　京都第六号
港区役所
総務課
公園芝
電話芝(41)2906

編集人兼印刷人　雄雄
田重憲
島
森

印刷所
港区麻布飯倉町四ノ九
ファースト印刷社
電話赤坂(58)5763

港区誕生こゝに七周年
十五日に記念式挙行



三月十五日午前十時港区創設七周年記念式が芝公会堂で挙行され、現区議会議員をはじめ、旧芝、麻布、赤坂の三区統合当時の区政功労者多数が出席、区長の式辞並びに議長の祝辞につゞいて初代区長井手光治氏の祝辞があり、港区の万才を三唱して十一時半散会した当日の区長の式辞は次のとおりである。

区長式辞

本日は、わが港区が発足いたしましてから、丁度七周年に当りますので、当時を偲び、また将来の発展を期する意味におきまして、ここに恒例の記念式典を催す次第であります。

港区の発足に、その後の発展に御尽力をいたゞきました多数来賓各位の御列席を賜わり、一言申し述べる機会を得ましたことは、私の最も喜びとするところであります。

去る昭和二十二年三月十五日に旧芝、麻布、赤坂の三区が統合され、わが港区が誕生いたしましてからこゝに七周年を迎えまして、区政の歩みを振りかえり、将来の発展を祈念いたしますことは、まことに感慨無量のものがございます。

旧芝、麻布、赤坂の三区統合のことは、区政実施以来の一大変革でありまして、当時の重大案件でありましたが、区の自治権確立という大目的のために、すべては解決し、輝く港区の誕生となったのであります。

かえりみますれば、港区発足当時は、なお浅く、社会情勢の急激な変化と、混とんたる世相のうちに、区政の運営においても極めて多難な途を歩みましたが、初代の民選区長として井手光治氏、次いで今はなき矢田直三氏の御尽力、また初代区議会議長高雄徳竜氏次いで徳安実蔵氏、鈴木清一郎氏、河村末松氏、現議長稲垣幸太郎氏をはじめ区議会議員各位の並々ならぬ御努力と、区民各位の理解ある御協力のもとに、今日の進展をみましたことは、まことに慶祝すべきことと存じます。区政の現況と七年前の状況との一例を区内の人口にとって比較いたしてみますと、当時約十四万九千人でありましたものが、今日では二十五万を超え、十万人以上の人口増加となっております。

この事実は何と申しても区勢伸張の跡を顧み、本区復興のため、自治区政発展のために御尽瘁いたゞきました先輩各位、区民各位に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表しますとともに、ここに三区統合の理想を想起し、自治区政発展のために専心いたしたく、各位の一層の御指導と御協力をお願いいたす次第であります。

ことは今更申すまでもないことでありまして、私共は各位の御力添えを得て、一層の努力を払い、大港区発展に努めたいと存するものであります。

港区誕生七周年に際し、区勢伸張の跡を顧み、本区復興のため、自治区政発展のために御尽瘁いたゞきました先輩各位、区民各位に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表しますとともに、ここに三区統合の理想を想起し、自治区政発展のために専心いたしたく、各位の一層の御指導と御協力をお願いいたす次第であります。

予算審議の
第一回定例区議会
十九日に閉会

港区議会第一回定例会は、十二日に招集され、予算並びに決算の特別委員会を設置して昭和二十九年度港区予算をはじめ、二十八年度補正第七号予算の審議、二十七年度港区決算の認定などを行い、ほか重要案件を左のとおり多数審議可決して、十九日閉会となった。

一、東京都港区証紙資金貸付条例制定について（可決）
一、東京都港区設置条例の一部を改正する条例制定について（可決）
一、土地購入について（青葉児童遊園敷地）（可決）
一、土地売買について（南海小学校移転用地内居住者移転換地として赤坂一ッ木町に宅地二四九坪余りを購入）（可決）
一、建物等購入について（北芝中学校々舎）（可決）
一、昭和二十九年度一般会計繰越施行について（可決）
一、昭和二十九年度一時借入金について（可決）
一、昭和二十八年度東京都港区歳入歳出追加更正予算（可決）
一、昭和二十七年度東京都港区歳入歳出決算（承認）
一、昭和二十七年度東京都港区質屋事業歳入歳出決算（承認）
一、昭和二十九年度東京都港区歳入歳出予算（可決）
一、昭和二十九年度東京都港区質屋事業歳入歳出予算（可決）

区議会各種委員会

連合常任委員会　三月十日午前十時開会、区議会提案事項について協議。

建設常任委員会　三月二十四日午後二時開会、青葉公園その他について協議。

厚生常任委員会　三月二十六日午後二時半開会、生業資金貸付手続等について協議。

パン食にも栄養のあるお菜を
好評だった調理講習会

食生活改善のための粉食普及調理講習会は、三月六日から十三日までの間、区内十二ケ所で開催され、どの会場も熱心な奥さん、お嬢さん方で満員の盛況、それに、今度は粉食の際のおかずが主だったのでとても好評であったので、区では又二十五日から三十一日まで区内八ケ所でこの講習会を再開しましたが、お出になれなかった方の御参考までに、季節向きの安くておいしいお料理を二つ三つご紹介いたしましょう。

①鱈ボールのスープ煮

材料　生たら一切、豚生油四匁、馬鈴薯中半ケ、人参中丸一寸、玉葱小半ケ、片栗粉大匙一杯、煮出汁一合

五勺、塩、こしょう少々。

たらの身を細かくたゝいてすり鉢で良くすり、別の器にうつして、豚の生脂をよくすってから、鱈のすり味をもどし入れ、片栗粉を入れて良くすって、うす味に塩を交ぜる。煮出汁を煮立ててこの中にすり身を一口位の大きさに入れ、浮き上ったらすくい上げ、汁に人参、馬鈴薯、玉葱を入れて塩、こしょうで味つけをして煮込み、最後に鱈ボールを入れてさっと一煮立させて火をとめる。パセリ、人参の葉のみじん切を散らして食する。

②納豆ペーストとフレンチサラダ

材料　納豆½包、ひき肉五匁、油大匙一杯弱、玉葱¼ケ、人参中丸一寸、醤油大匙一杯、塩、辛子醤少々、キャベツ小葉一枚、りんご1/5ケ、サラダオイル小匙½杯。

納豆はすりつぶしておく（大根ですりつぶすと早い）フライパンでひき肉をいため、玉葱のみじん切、おろし人参を入れていため、納豆を入れて塩、醤油、辛子で味をととのえ、パンにぬって食べる。りんごは芯をとって皮ごとすく切り、キャベツのせん切りと交ぜてサラダオイル、酢、塩等であえる。

③かきのスープ

材料　かき二四匁（あさり、はまぐりでも良い）馬鈴薯小一ケ、玉葱¼ケ、人参小丸二寸、人参の葉、粉ミルク小匙二杯、小麦粉小匙一杯、マーガリン小匙一杯。

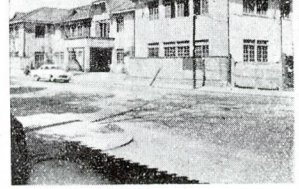
鍋にマーガリンをとかし、サイの目切りの馬鈴薯、玉葱、人参をいため、メリケン粉をふりこんでまぶしつけ、湯一合を加えて中火で煮込み、塩水でふり洗いしたかきと、とかした粉ミルク（牛乳でも良い）を加えてさっと一煮立させ、塩、こしょうで調味しみじん切の人参葉を浮かせる。

④鱈のカレー揚げ　白菜人参の附合せ

材料　鱈一切、小麦粉大匙一杯半、カレー粉、塩少々、油大匙一杯半。

さばは塩をふっておき、小麦粉にカレー粉をまぜた衣をつけて熱した油で揚げる。人参は五糎長さの、拍子木に切り、油で揚げ、熱湯を通してせん切にした白菜と合わせて、附合せにする。

以上何れも主食として三分の一斤のパンに附け合せると、この一品だけで蛋白質もカロリーも一食分の必要量だけ充たされ、栄養たっぷりな食事となります。



北芝中学校々舎として
元京橋商業学校建物を購入

北芝中学校は昭和二十二年の開校以来、桜田、鞆絵の二小学校に分れて併設されているので、併置校としてのなやみのほかに、その不便はまた格別で、生徒も職員も、また父兄も独立校舎の実現を一日千秋の思いで待ち望んでいましたが、かねてから同校々舎として予定されていた芝公園四号地の元都立京橋商業学校跡の建物の払下げがこのほど本決りとなり去る十九日開会の区議会において同建物を東京都から四百九十四万円で購入することについての決定がされました。

校舎は木造亜鉛引鉄板瓦葺二階建一棟と、木造スレート葺四三・五坪の平家建一棟で、芝児童館の裏手に当り、芝公園の緑の森に向いあって、環境としては一番良いところといえましょう。

この建物は戦時中から郵政省分室となり、現在もそのまゝ使用されていますが、この分室の移転が済み次第直ちに校舎としての改造工事に着手することになっているので、明年度中には、嬉々としてこの校舎に学ぶ北芝中の生徒達を見ることができるでしょう。

29年度港区歳入歳出予算 五億六千七十一万余円を計上

昭和二十九年度港区歳入歳出予算が、この第一回定例区議会において可決されましたが、その内容を簡単に説明しますと、国及び都の財政緊縮方針にならって、港区においても経常的経費はできるだけこれを切つめ新規事業も今のところ財源の見透しがつかないために一時差控えることとし、とりあえず経常経費と緊急所要経費のみを見つもり、五億六千七十一万七千三百七十円を当初予算として計上いたしました。

これを歳入の面から見ますと、その主なものは特別区税収入の四億一千四百十四万四千百七十九円で、予算総額の七三・八％を占め、本区財政収入の根幹となっており、これに次いでは六三制整備費その他法令による事務費の都交付金の一五・三％、事業繰越並びに一般繰越金が三・三％、受託事業収入、納税延滞加算金、共同作業所収入等の雑収入が三・六％、公会堂その他区施設の使用料等が主な財源となっております。

歳出についての主なものを挙げますと、本所、支所出張所等の一般事務に要する需用費並びに区職員の人件費等を計上した区役所費と、教育費がそれぞれ四〇・九％、三八・九％と支出の大部分を占めており、区役所費に二億二千九百五十九万八千七百六十円を、教育費には二億一千八百十二万九千七百七十円が計上されています。

これに次いでは道路、公園下水など土木施設の維持修繕等に要する経費その他を土木費として三千九百三十万七千八百七十六円、議員報酬並びに区議会運営に要する諸経費等を議会費として二千七百十九万七十一円区政普及並びに事務能率増進、窓口事務改善に要する経費、自治権拡充費、戸籍及び住民登録、消防団関係などの諸経費が諸支出金として、二千九百三十七万六百二円計上されています。

支出面から見た新しい事業としては、宣伝カー購入に二百万円、北芝、芝浜、青山中学校用地買収のための諸経費並びに旧東町小学校復旧経費等を五千七百四十三万円、生業資金貸付事業に二百六万五千円、麻布公会堂建設に二百四十八万円余りが予定されており、各事業別予算並びにその百分比は次のとおりとなっております。

なお、このほか特別会計として区営公益質屋事業予算が四千四百八万一千四百五十二円計上され、区民の金融機関としての業績を果しております。

昭和29年度 東京都港区歳入歳出予算（百分比）

歳入

科目	当初予算額	%
1 特別区税	414,144,179円	73·8
2 公営企業収入及財産収入	7,766,794	1·4
3 使用料並手数料	14,596,200	2·6
4 都交付金	85,691,595	15·3
5 寄附金	100	0
6 繰越金	18,535,000	3·3
7 雑収入	19,983,502	3·6
歳入合計	560,717,370	100·0

歳出

科目	当初予算額	%
1 議会費	27,190,071	4·9
2 区役所費	229,598,760	40·9
3 土木費	39,307,876	7·0
4 建築行政費	915,975	0·2
5 教育費	218,129,770	38·9
6 厚生事業費	5,905,694	1·1
7 産業経済費	3,073,134	0·5
8 選挙費	1,391,954	0·2
9 財産費	3,833,534	0·7
10 諸支出金	29,370,602	5·2
11 予備費	2,000,000	0·4
歳出合計	560,717,370	100·0

生業資金を区で貸付 申込受付は四月五日から

生活にお困りの方や、また現在保護を受けている方でもとでさえあれば事業を始めることができ、または現在の事業を継続して、独立した生活を再建できる方々のために、港区では二十九年度から生業資金の貸付を行うことになりました。

この資金を借り受けることによって生活扶助を受けないで済むという目安のある方は、港区役所又は支所の厚生係へ御相談のうえ、期間内にお申し込み下さい。

第一回貸付金額は総額百八十二万円で、申込受付期間は四月五日から二十日までです。

また借受人の資格その他の要件は次のとおりです。

借受人資格

①現に生活保護法による生活扶助を受けている人、又は生活に困つている人

②港区内に一年以上引つゞいで住んでいる人、

③この貸付金によって事業を開始でき、又は従来からやっている事業を続けてゆくことによって生計を立てることのできる人

④事業計画がはっきりしていて、直ちに事業の開始ができるか又は従来からの事業の継続又は改善の見込が明らかな人、

⑤昭和二十八年度までの特別区民税を完納している人（但し、税金を課税されていない人はこの限りでない）

⑥確実な連帯保証人があること、

⑦これまで東京都から生業資金を借り受けた人は、その元利金を完納していること

貸付金額 一世帯一口、五万円以内

貸付期間 五カ年以内（六カ月据置期間を含む）

利率 日歩二銭五厘（据置期間中は無利子）

返済方法 月賦均等返還とする

保証人 次の要件を具えた連帯保証人を必要とする

(イ)港区内に一年以上引つゞき住んでいること

(ロ)一定の職業を持ち、独立した生計を営んでいる世帯主であること

(ハ)保証能力が充分と認められること

(ニ)昭和二十八年度までの区民税を完納していること

(ホ)都及び区の生業資金貸付金について、他の人の保証人になっていないこと

貸付決定 書類及び実情を調査したうえ貸付者を決定して通知します。

港区世帯数及び人口数（29.3.1.現在）

地区別	世帯数	人口数	内訳 男	内訳 女
芝地区	36,890	145,689	75,204	70,485
麻布地区	15,263	58,990	29,986	29,004
赤坂地区	11,370	45,125	21,942	23,183
計	63,523	249,804	127,132	122,672

ほたるのひかり まどのゆき
ことしの卒業生六、八四〇名

区立小中学校並びに幼稚園の卒業式は、三月二十日から二十五日までの間、左の日程により行われましたが、ことしの卒業生総数は六、八四〇名、ほかに区立幼稚園修了児童は五二五名で、小学校 四、五九〇名、うち男子二、三七〇名、女子二、二二〇名となっており、中学校卒業生は 二、二五〇名うち男子 一、二五六名女子九九四名が、上級学校へ又は社会へと新しい門出をいたしました。

学校別の卒業生徒数並びに男女児別数は次のとおりです。

なおこれによってはっきりすることは、現在の中学校卒業生が小学校を終了する当時は、二、九一三名でしたが、わずか三年後の今年の小学校卒業生徒数はその一・六倍になっており、学令児童の飛躍的増加の現状が明らかにされております。

昭和二十八年度学校別卒業生徒数（小学校）

校名	生徒数	男児数	女児数
桜田	一〇三	五三	五〇
南桜	一二一	七三	四八
西桜	七七	四三	三四
鞆絵	一五四	七〇	八四
桜川	二五二	一三六	一一六
神明	一三六	七〇	六六
竹芝	九六	四八	四八
芝	九一	五〇	四一
赤羽	二八九	一五六	一三三
南海	一一六	六八	四八
芝浦	一五五	八〇	七五
御田	一三六	五六	八〇
高輪台	三五八	一八六	一七二
白金	三四二	一八六	一五六
三光	一七五	九六	七九
神応	一四〇	六六	七四
芝地区計	二、七四一	一、四三七	一、三〇四
麻布	二七九	一四二	一三七
南山	二七〇	一二九	一四一
本村	二〇二	八九	一一三
笄	二九三	一四五	一四八
麻布地区計	一、〇四四	五〇五	五三九
赤坂	八七	四四	四三
青山	二三五	一二九	一〇六
檜町	一四一	七一	七〇
青南	二二三	一一八	一〇五
氷川	一一九	六六	五三
赤坂地区計	八〇五	四二八	三七七
総計	四、五九〇	二、三七〇	二、二二〇

同（中学校の部）

校名	生徒数	男児数	女児数
港	二三八	一二五	一一三
愛宕	二〇八	一一六	九二
芝浜	一九〇	九九	九一
北芝	一六九	九三	七六
朝日	一八〇	九九	八一
高松	三六七	二一六	一五一
芝地区計	一、三五二	七四八	六〇四
城南	三〇三	一六五	一三八
高陵	一八八	九四	九四
麻布地区計	四九一	二五九	二三二
赤坂	一三〇	七一	五九
青山	二七七	一七八	九九
赤坂地区計	四〇七	二四九	一五八
総計	二、二五〇	一、二五六	九九四

同（幼稚園の部）

校名	生徒数	男児数	女児数
西桜	一六八	七九	八九
麻布	一一九	五九	六〇
南山	一一九	五八	六一
中之町	一一九	六一	五八
計	五二五	二五七	二六八

麻布公会堂 建設工事始まる

前号でお知らせしたように麻布支所三階の旧議場を、公会堂として区民に利用していたゞくため、改装並びに施設の計画がさきごろよりすゝめられておりましたが、去る三月九日場内改装工事並びに電気施設工事の入札が行われ、いよ〳〵公会堂実現の第一歩を踏み出しました。改装工事は議壇をステージに、又壁その他を美装するもので、工費百十万円で田和組に落札、電気工事は六十三万六千八百円で、日本電工株式会社により施工されております。

公会堂の規模は、面積一六〇坪、定着席三二〇名、収容能力四百名ほどで、間口六間、奥行二間半のステージと、控室、休憩室、廊下手洗いなど、集会場としての必要な設備を施こし、五月中旬ごろお目見得する予定となっております。

八割三分が公立校へ
小学校卒業生進学状況

試験シーズンもようやく終った三月十日、今年小学校を卒業する子供たちの進学状況調査が行われましたが、これによると卒業生総数四、五九〇名のうち、国立並びに私立中学校に入学の決まったものは、一七％の七九五名で、残りの 三、七九五名は区立中学十校へそれぞれ次のとおり進学することになりました。

港	四三四	愛宕	三六〇
芝浜	二九八	北芝	三二三
朝日	二九三	高松	五六八
城南	四六七	高陵	三七五
赤坂	二七七	青山	四〇〇

国土緑化にみどりの羽根募金
四月一日から二十日まで

焼土と化した東京の街もこのごろようやく美しい緑の樹々に平和の色をとりもどしてまいりました。四月に展開される国土緑化運動の一つとして、今年もみどりの羽根募金が、四月一日から二十日間、全国的に開始されます。

今年の港区募金目標額は六十万円、芝地区三十万円、麻布地区十八万円、赤坂地区十二万円の内訳となっており、区内の公私立高校並びに中学生のみなさんや、婦人団体の御世話でこの募金が行われます。

この募金の六割は植樹資金として区に返され、区が区内の公園、街路樹、学校などの緑化をすることになっています。

今年もまた区民の方々の御理解ある御協力を重ねてお願い申し上げます。